



2022年 1月

第319号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長	山本 英次	国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」
副会長	茂木 稔	スローガン「愛と尊敬で世界を癒そう」
書記	花輪 宗命	アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一」
会計	小口 多津子	東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 主題:「私たちは次の世代のために何が出来るか」 スローガン「絆を深める時」
直前会長	花輪 宗命	あずさ部部长 長谷川 あや子(八王子)
担当主事	中里 敦	主題:「道を拓く〜愛と協力によって」
プリテン	茂木 稔 山本 英次 大久保 重子	クラブ会長 山本 英次 主題:「コロナ禍を乗り越えて、新時代のクラブへ」

感謝と祈りに添えて

山本 英次

1月例会プログラム (ハイブレット例会)

日時: 1月22日(土曜日) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2階大会議室

(担当A班 長谷川、菅野、中里、小口)

受付: 小口

司会: 長谷川

開会点鐘 山本会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジター紹介 会長

聖書朗読・祈祷 中里

卓話 「コミュニケーションの心得・極意」

甲府21クラブ会長

米長 晴信ワイズ

スマイル 菅野

Happy Birthday 会長

報告・連絡事項 会長・各担当

閉会点鐘 山本会長

会食

昨年一年間は拙い会長を支えて下さいまして感謝に堪えません。

振り返るとコロナ禍に振り回され、落ち着く間もなくオミクロン株の感染が目に見えてまいりました。

二度目のワクチン接種を終えた私たちは、感染の恐れは少ないものの油断はなりません。2月には3度目のワクチン接種と飲み薬による感染防止策が取られるようですが、爆発的な広がり起こらないことを祈るばかりです。

クリスマス寒波に相応しい厳しい北風と寒気に震えながらも会場に集合したメンバーやゲストの皆さんは、それはほこやかな雰囲気の中で八王子クラブのクリスマス例会を楽しん

先月の例会ポイント (12月)

在籍	12名	切手(国内・海外)	0g
メン	11名	累計	0g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	100%	累計	0円
メネット	5名	スマイル	19,210円
ゲスト	3名	累計	64,310円
ビジター	4名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

今月の聖句(2022年1月)

主よ、あなたの働きは私を喜ばせる。私はあなたの手の業を喜び歌おう。主よ、あなたの業はなんと大きく、あなたの計らいはいかに深いことか。思慮なき者はそれを知らず、愚かな者は悟ろうともしない。

(聖書協会共同訳-旧約聖書詩編・92:5~7)

で下さいました。並木信一実行委員長の極め細やかな演出と舞台装置により、密を避けながらも会話の弾む距離でアルコール抜きの飲み物やコーヒーに一人ずつの折詰弁当は本当においしかったです。

例年通りの永町匡世さんのピアノ演奏の中で讃美歌を歌い、敬虔な祈りの伴う聖句の朗読があり、特に今年は「クリスマスの鐘」という影絵のスクリーン鑑賞が素晴らしくクリスマスの夜を彩る企画でありました。

感動的な第一部に続いて第二部は茂木さんの軽妙なお話を挟みながらの懐かしい歌曲の合唱で盛り上がり、並木ファミリーによるギターと歌の披露は拍手喝采でもありました。

今年の干支は「壬寅」です。「壬寅」は冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるというイメージがあるらしいです。希望に溢れた新年を皆様と一緒に迎えることが出来ました事を喜んでおります。

3月に開催を予定している「第2回チャリティーコンサート」は、今度こそという意気込みで準備をしておりますが、無事に開宴に漕ぎ着ける事が出来るように祈りましょう。

2021年12月 クリスマス会

酢屋善元

2021年ワイズのクリスマス、並木ファミリー合唱団の天使のような歌声は、メンバーの心の奥深くまで届き、降誕と聖夜の歓びを最大限にしてくださいました。感謝です。

信仰と家族愛の満ち溢れる豊かなハーモニーは、聴いている私たちの心を優しく揺さぶり、全てを共に分かち合う喜びをもたらしてくれました。



並木さん夫妻 ご子息ご夫妻とお孫さん2人の6人の合唱

私の両親は神田のYMCAで結婚しました。そして戦争が終わり、私がYMCAのプログラムに最初に参加したのは、高校時代で、野尻学荘のキャンプでした。

歌で目覚め、一日中歌と共に過ごし、歌で眠りにつくという生活を、15日間続けました。当時のキャンプソングは、「楽しい歌」というベストセラーになって、ボーイスカウトなどでも歌われていたようです。

通称トミーソング、やさしくて快活な富岡先生の歌が、いっぱい詰まっています。大切なそれを、残念ながら紛失し、手元に有りませんが、今でも、時々口ずさんでいます。

YMCAと言えば「楽しい歌」がインプットされているせいか、八王子ワイズでは歌がなくて、ちょっと寂しく、違和感もあります。三鷹の武蔵野ワイズにいたころ、歌の先生をお呼びして、レッスンを受けたことがあります。もう何十年も前ですが、時々思い出がよみがえります。八王子ワイズでも、先生をお呼びして、キャンプソングの講習会など催したら、きっとみんなで楽しむことができるでしょう。

越智さんが確か歌の先生でしたから、往年のキャンプソングなど、YMCAオリジナルの歌など、沢山紹介してくださいと思います。

また、八王子ワイズのオリジナルの歌があってもよいと思います。みなでワイワイと話し合って歌詞を創作し、久保田さんに頼んで作曲してもらえば、素晴らしい歌ができそうですね。

二女がヴァイオリンクラブを開いていますが、近頃70代くらいの人たちが、初めてヴァイオリンに挑戦し、皆さん大変熱心で練習もばっちり、腕もめきめき上達するそうです。時々福祉施設など慰問に出かけます。ピアノと違って、どこにでも持って行かれる強みを発揮して、大勢で合奏すると、不思議に全員が上手のように聞こえます。ワイズでもやって見たら、きっと楽しい仲間づくりができそうですね。

クリスマス祝会での24人の大合唱

茂木 稔

2021年度のクリスマス会において、私の担当は祝会の司会者としての仕事が回ってきました。

そこで、直ぐに私のやりたいと思っていたことを班長の並木(信)に相談して、その方向での進行にOKを貰いました。実は私は考えてみるとここ数年殆ど全くと言ってよいほどに歌を唄ったことが有りませんでした。

このコロナ禍の前には一人で新宿の、昔 西部新宿の駅の前にはあった大きな歌声喫茶の「ともしび」の近年本来の店がまた開いた新宿駅に近い新しい65人しか入れない小さな狭い店である二代目の「ともしび」に最近行ったことが有るのです。

しかし、その店の常連客は昔の青春時代20~30代の方々

が、そのまま70代から80代の方々ばかりで、店は午後の営業が始まる13:30には、もう客があふれて65席は全部うまり、私はピアノの前の席となってしまいました。

隣にいた私と同年代の男性と話をする、85歳であり八王子から毎日この店に来ると言います。歌い出すと本当に歌が上手であり、良く知った曲だとピアノの前に出て、7、8人で並んで唄っていました。右隣にも70歳代の一人である女性が居たので、話しかけると静岡市より初めて一人で参加したと言います。

歌をリードする司会の女性が次々と歌を指定していますが、昔のような労働歌やロシア民謡は全く無くなりました。席は誰一人として立つ人はおらず、殆どの人は皆昼の営業の終わりの15:30まで歌っていました。今はどうなっているのか懐かしいので調べてみると21年4月に店を閉めて、同年9月末に退店したそうで、3月までに45,00万円の欠損を出し、またコロナ禍が過ぎれば、また新宿のどこか別の場所で開店したいと記入が有りました。

そんな思いもあり、今回のクリスマスの祝会は皆で合唱をすることを目指しました。誰もが歌える歌として最初はマイク真木が歌った「バラが咲いた」で皆の発声をリード



ピアノを毎年弾いてくれている永町匡世さん

しました。次は当日の会場の環境を考えて「冬の星座」として、皆が歌になじんだところで、並木ファミリー6人のギターによる歌の数々が披露されました。この微笑ましいグループの歌には大きな声援が上がりました。

ここ毎年ピアノを独奏してもらっている永町匡世さんには皆で唄う合唱曲のイントロから、本曲の伴奏をしていただき「桜貝の歌」「瀬戸の花嫁」や最後には「こんにちは赤ちゃん」とクラブの平均年齢の皆さんならば必ず知っているであろう曲を、コロナ禍などなかった様に大声を出して抑えられた日常を吹き飛ばすように唄い大満足でした。

「ワイズというお仲間恵まれて…」福田さんの言葉 小口多津子

この度、お引越しの為、八王子クラブを離れる事になりました福田勝江さん。「長かった人生、後半は、ワイズというお仲間恵まれて・・・」と八王子クラブを離れるにあたっての挨拶をされました。私にはとても心に残る一言でした。

福田さんは長かった職場生活を終えられてから、2010年7月に八王子クラブに入会されました。主にBF担当や班長をされて、その11年間は八王子クラブ全ての行事を丁寧まっとうされて、そのことが生き甲斐といつもおっしゃっていました。



右側第二列右から二番目の福田さん

私が一番思い出される行事は、DBC（ワイズ兄弟クラブ）の大阪セントラルクラブとの毎年のご一緒の旅行で、八王子と大阪とが交互に当番で、旅行先やその間のプログラムを担うことでした。

ある年の八王子の番で、福田さんが担当されたのは、はとバスに乗って東京観光でした。バス会社とのコース決め、国会議事堂、上野公園、銀座でのお食事と盛沢山の計画を立てて、難なくこなされて、あの細身のお姿のどこに、そのエネルギーが、と感じさせられました。

お聞きすると、かつてのお仕事は社長秘書をされていたとのこと、どうりでと納得でした。またずっと長いこと社交ダンスもご趣味でした。いつも目を輝かせて一つ一つのプログラムに興味深く、可愛らしい存在です。先日クラブでの最後の例会の時に、まだまだ気持ちは、ずっとこのクラブにありますので、退会ではなく休会でよろしく願います、とおっしゃって、「繋がる」ことが、これからの私達世代にどんなに大事であることか、を知らされました。去るのではなく、繋がっていること。ワイズだからこそ出来る人生の後半に私達が掴む大事な生き方ですよ、と彼女は教えて下さったと思いました。福田さん、いつまでもお元気で繋がっていきましょうね。

YMCA 便り

中里 敦

皆さまはどのような新年をお迎えでしょうか。今年も神さまに守られ、恵み豊かな一年になることを願っております。

◆12月4日、高等学院の主催で、講演会「合理的配慮の実際ってどうなってるの?～申請から実際までの流れ～」を、吉野智子氏(早稲田大学障がい学生支援室コーディネーター)を講師にオンラインで開催した。

◆12月から3月にかけて、合計12のキャンプ(スキーキャンプ、デイキャンプを含む)を、コロナ感染対策を講じて実施する。夏期に続きフレンドシップファンドを活用し、コロナ禍等で経済的に困難なご家庭には参加費を補助する。

◆12月12日、東陽町センターと社会体育・保育専門学校を会場に、「クリスマス ミニオープンハウス」を開催し約1,500人が来場した。益金約50万円は、子ども食堂などの地域プログラム、国際協力募金、青少年リーダー養成、災害復興支援に用いる。

◆西東京センターでは例年のクリスマス会に替えて、ユースボランティア、音訳ボランティア「シジュウカラ」、東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ等の協力により手づくりの動画を作成。12月15日と22日の2回にわたりYouTubeで配信し、好評であった。

<東京YMCA主な行事予定>

・「YMCAピンクシャツデー2022」(いじめ反対キャンペーン) 2月23日

・「第23回libyチャリティーコンサート」3月13日
会場：山手センター(オンライン配信もあり)
出演：越智光輝とゆかいな仲間たち/三菱商事コーラス同好会(映像出演)

・関連団体の動き：早稲田奉仕園スコットホール献堂

100周年記念式 1月29日

ひっじぐも便り

中大ひっじぐも 山崎さん

こんにちは。中央大学ボランティアサークル2年の山崎です。私は12月11日に行われた多摩川河川敷でのゴミ拾い活動に参加しました。

私は2年生になってからひっじぐもに加入し、今回が初めての対面での活動となりました。コロナ禍ということもあり、今までオンライン中心の活動だったため、メンバーと顔を合わせて活動することができて本当によかったです。

当日は1、2年生中心に12人で二子玉川駅付近の河川敷でグループに分かれてゴミ拾いをしました。

活動を開始してすぐ、ゴミの多さに驚きました。少し歩いてただけでゴミが見つかり、それを拾ってまた少し進んでゴミがあつて拾う、といったことの繰り返しでした。周辺でスポーツをしている人やランニングをしている人など利用する人がかなり多いからなのかなと思いました。

また、ゴミはタバコやお菓子の袋などが多かった印象で、また想像以上にペットボトルや缶など大きなゴミが多くなり大変でした。

また、ゴミ拾い活動を通して分別ということ今まで以上に意識するようになりました。ゴミというものは必ず出てしまうものであつて、その量を減らすことも重要ですが、ゴミのその後のことを考えて分別をすることもとても重要だと思います。

ゴミ拾い活動を終え、集まった大量のゴミと、きれいになった道を見てとても気分が良くなりました。ゴミ拾いの意義を見出せた気がします。今回の活動を通してゴミや分別に対する意識を向上させることができました。これからの生活に生かしていきたいです。また機会があれば積極的に活動に参加したいと思います。

今月の聖句によせて (2022年1月)

新しい年を迎えました。世界のYMCA/YWCAでは、毎年一年間の聖書日課を定めています。今年、1月1日の聖書日課が、一面の今月の聖句で掲げた、旧約聖書の詩編92編です。神様のなされる業は、なんと大きくて深いものか。しかし、思慮の浅い者は、それを知ることせず、また、愚かな者はこのことを悟ろうともしない、と、語っています。この聖句を読むとき、以前もご紹介したことがある、次の「グリーンの黒板」のお話を思い出します。

「校舎はすべて最新式です。誇らしげに、校長さんは改良点をのこらず語りました。主よ、その中で一番傑作なのは、グリーン黒板でした。科学者が長い間研究をし、実験をかさねた結果、今や緑が理想の色になりました。それは目を疲れさせず、静かで落ち着いた色なのです。主よ、今やっとわかりました。あなたが木や草を世のはじめから緑にされ理由が。あなたの実験室は完全で、私たちに疲れさせないために、野原にいくつも緑の木陰をつくられました。そこで人間の「発見」が、あなたが昔からなさっていたこととピッタリ合ったのです。」(ミシェル・クオスト著 藤木治祥・C. H. プシャール共訳「神に聴くすべをしっているなら」より)
「SDG's」という文字を、新聞、テレビをはじめ、いたるところでみかけられた昨年でした。そして今年も、この文字を字面で掲げるのではなく、実践の課題として理解しなければならいでしょう。人間を含むすべての生物が生きるにふさわしい環境を、極限にまで破壊しつつそうしているのは、他ならない私たちであることを、今、私たち一人ひとりが自覚しなければなりません。新しい年のはじめに、あらためて聖書に聞き、歩みをはじめたいものと思います。

並木信一

《 報告 》

12月第2例会

日時：2021年12月25日 18:00～20:00

会場：北野事務所 2階小会議室

出席者（敬称略）：山本、茂木、小口、長谷川、
中里、久保田、花輪

- ①クリスマス例会会計報告 小口会計
- ②福田勝江会員の今後の処遇— 休会とし、適宜ゲストとして参加してもらう。
- ③ワイズナイトフォーラムについて 昨年9～11月で一旦終了したが、好評につき新年から2か月に1回程度で再開の報告で調整中 長谷川部長
- ④東京サンライズクラブの例会（12月）報告 長谷川部長
- ⑤あずさ部評議会への出席申し込み1月29日 山本会長
- ⑥2022～2023年度次期理事候補の推薦 山本会長
- ⑦あずさ部第2評議会議案提案書 締め切り1月22日
来年は富士五湖クラブの後藤さんがあずさ部長
- ⑧2022～2023年度 財政監事候補者の推薦 山本会長
- ⑨YMCA 報告 中里主事
- ・12月スマイル20,000円は「多摩いのちの電話」に寄付

◎ 切手収集の援助

津田敬久さんより多量（分担して整理）

日本切手 100 グラム 外国切手 35 グラム

1月卓話者紹介 米長晴信さんプロフィール

1965年生。永世棋聖、米長邦雄の甥
1990～2006年 フジテレビ報道局勤務。
社会部・政治部・海外特派員として数々のレポートを
視聴者に届ける。ニュース番組PDとして番組構成、
キャスターコメントを統括。
2007～2013年 参議院議員
みんなの党メディアアドバイザー
2017年 甲府21ワイズメンズクラブ入会
2019年 一般社団法人やまなしランド設立

1月の誕生日

1月20日 並木信一さん

高尾わくわくビレッジ便り

館長 菅野牧夫

新年あけましておめでとうございます。

2021年はコロナウイルスに振り回された1年となりました。1月から始まった緊急事態宣言により、宿泊客は激減してしまいました。

3月の終わりに一時的に宣言解除となりましたが、4月～6月には3度目の緊急事態宣言、7月～9月に4度目の緊急事態宣言と立て続けの政府の方向転換に、わくわくビレッジの予約団体もキャンセルと再予約の繰り返しで混乱が続きしました。ここにきて少し落ち着き、お客様も戻ってきました。このまま続いてくれることを祈っています。

わくわくビレッジの10年契約も残すところあと3年となりました。そろそろ次期(3期目)の更新に向けていろいろと考える時期が近づいてきました。今年1年の中で私が取り組んでいきたい課題は①サービス向上の手立てを考える②わくわくビレッジの長所を再認識する、の2点です。17年間で積み上げてきたことが形だけ残ってしまっています。何のためにやっているかをサービスという観点、長所を生かすという観点からもう一度考え直して、良きものは残し悪きものは進化させていきたいと考えています。お客様から良い評価をいただき3年後の更新につなげていきたいと考えています。

私が八王子ワイズメンズクラブに所属して1年9ヶ月が経ちましたが、わくわくビレッジのシフトの都合で欠席することも多くありました。ワイズの信条にもありますように、例会への出席をもう少し増やし、皆さんともっとコミットできるようにしていきたいと思います。

新年を迎え、私の今年の目標を書かせていただきました。今年もよろしく願いいたします。

わくわくビレッジの早朝の景色

